

2021年3月期 第2四半期（中間）決算のお知らせ

【単体】	経常利益	23億92百万円	（前年同期比△4億9百万円）
	中間純利益	18億77百万円	（ " +94百万円）
【連結】	経常利益	22億29百万円	（ " △5億16百万円）
	親会社株主に帰属する中間純利益	16億45百万円	（ " +13百万円）

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、11月11日（水）、2021年3月期（2020年度）の中間決算を発表いたしました。

1 損益（単体）

経常収益は、国債等債券売却益の増加により前年同期比3億2百万円増収の196億44百万円となりました。（増加率1.5%）

本業での利益を示す**コア業務純益**は、経費は減少したものの、資金利益や役務取引等利益が減少したことにより3億13百万円減益の28億57百万円となりました。（増加率△9.8%）

経常利益は、国債等債券損益と株式等関係損益は合計で好転したものの、コア業務純益の減少により4億9百万円減益の23億92百万円となりました。（増加率△14.6%）

一方、**中間純利益**は、特別損益の好転および法人税等合計の減少により94百万円増益の18億77百万円となりました。（増加率5.2%）

2 損益（連結）

経常収益は、前年同期比3億30百万円増収の219億84百万円となりました。（増加率1.5%）

経常利益は、5億16百万円減益の22億29百万円となりました。（増加率△18.7%）

親会社株主に帰属する中間純利益は、13百万円増益の16億45百万円となりました。（増加率0.7%）

連結損益の増減は、主に銀行単体の増減要因によるものです。

3 預金および貸出金残高（単体）

預金（譲渡性預金を含む。）の中間期末残高は、個人、法人、公金預金の増加により前年同期末比2,135億円増加し2兆9,014億円となりました。（増加率7.9%、中間期末残高として過去最高残高）

貸出金は、事業先向け貸出の増加により790億円増加し1兆7,468億円となりました。（増加率4.7%、過去最高残高）

詳細につきましては決算短信をご参照ください。

（以 上）